

自分の生まれ育ったところは何もないと思っている方に

ジブリのアニメから里の風景を考える

皆さんは農村風景というどう思いますか。何の魅力もないし価値もないと思いませんか?できれば早く脱出したい、東京に行きたいと思いませんか? 実はとても魅力に富んでいるのです。そのことは、皆さんもジブリのアニメを通してすでに知っているはず。さあ、この講義を聞いて身近な風景を見直してください。

住民が誇りに思う町、人が良い所ですねと言う町が創りたい方に

中心市街地のまちづくり

地方都市の空洞化が進んでいます。人口は減り、若者はいなくなり、商店街を訪れる人もまばらです。では、どうしたら良いでしょう。この講義では、様々な取り組みをしている各地の事例を紹介し一緒に考えます。また日本に比べて、ヨーロッパの都市がなぜ元気なのかも考えていきます。

温井 亨 教授

●出張講義分野

中心市街の再生、風景の見方、村づくり

●研究分野のキーワード

町並み保存、文化的景観

●専門分野

ランドスケープデザイン、
都市計画、建築

※もっと詳しく
知りたい方は



<https://www.facebook.com/koekikanmachi/>



大学ではこんなことを研究しています

空洞化した中心市街地の再生、後継者のいない農山村の再生に関する研究、計画づくり、実践活動を行っています。そのためには、どちらの場合も歴史的な形成の在り方を基礎に据え、現代においてもそれを保存、保全し、活かしていく必要があると考えています。新しいものを付け加える場合にも、歴史的な文脈を踏まえて計画設計する必要があります。

先生からメッセージ

自ら調べ、自ら考えていただきたい。入学後はフィールドワークを行います。まず必要になるのは感性です。何が魅力なのか、何が問題なのか、それを感じ取ることができないと全てが始まりません。演習でも卒論でも、テーマが設定できるかどうかはそこに係っています。そして自ら考えた提案であること、オリジナリティが大事です。コピーは評価されません。ただし、本をたくさん読み、講義を聞いて、知識や手法を自分のものにしておかないと、独創的な提案、発想も生まれません。

略歴 東京大学農学部林学科卒業・同大学工学部建築学科卒業。

建築の設計事務所に勤務後イタリアに游学、まちづくりカンパニーで歴史的町並みの保存活用を担当した後、大学教員に。2010年4月より東北公益文科大学准教授。2013年4月より現職。